OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 編集後記　会報第二号 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学古代・中世文学研究会会報. 1985, 2, p. 6-6 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/67232 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

【編集後記】

◎今年の六月から試みとして始めてみました、「会報」（大阪大学古代・中世文学研究会）の第二号をお送りします。お急がしい中、それぞれ充実した御論稿をいただき大変感謝しております。第一号をお送りしましたところ、早速幾人かの方から励ましのお便りをいただきました。ささやかなものですが、年二回の発行を続けていきたいものと思っております。

◎前号はＡ４判でしたが、少し小さいようですので今回からＢ４判の二段組にしてみました。また、印刷はＮＥＣ９８０１（パソコン）のワープロソフトを用いています。ワープロソフトも次々と新しいのが登場し、私もこれは三つ目ですが、そのつど機能が向上しています。

また、今年になってプリンター革命が起こりつつあるようで、従来のドット方式ではなく、面印刷が出て来ました。写植プリンターとか活字プリンターと言われるもので、プリントしたものがそのまま版下になります。

こうなると、著者がフロッピーに打ち込んだ原稿は、これまでのようなゲラ校正などといった手間をかけることなく、すぐさま印刷へ回ることになります。出版にかかる費用のおよそ半分は版下までの工程ですので、理論的に本作成の費用はこれまでの半値になります。出版者の下請けをしている印刷屋の仕事が、大幅に無くなることは明らかで、すでに反対の動きもあります。また、出版者も一部に、それを取り入れるよう検討を始めました。

◎余白ができたため、すこしおしゃべりをしました。何かと御意見をお寄せ下さい。次号は、半年後になります。

（伊井）